

選挙戦最中の2月3日(火)第135回のほほえみ交流カフェが開催されました。開催時刻近くになっても、普段に比べ来場者の出足が鈍く、みなさん同じ時間帯に予定されている与党系若手人気政治家の演説をを聴きに行っちゃったのではと心配しましたが、結果17名のシニアが来場、いつもと変わらぬ賑やかな集まりとなりました。

シニア	17名
講師	6名
葛が谷CP	1名
葛が谷薬局	1名
スタッフ	8名 の 計33名



レギュラー司会者の樋口さんが欠席のため、大役は佐藤さんです。小泉代表の「投票日が近いのに選挙管理委員会からの案内が来ない」との話に会場から同様の声が複数上がります。近隣のポスター掲示板も、投票時刻は明示されているものの、肝心の投票日が記載されていません。現政権による奇襲攻撃の影響がいろいろなところに出ています。

本日の講演は、クラブハウス「すてっぷ・なな」代表、野々垣睦美さんによる「中途障害への理解 — 高次脳機能障害を知ろう —」



まずは「高次脳機能障害」って何？から

発達障害は生まれつきであることに対して、病気やけがによって脳に損傷を負うことで脳機能に障害が出て、日常生活や社会生活に支障が生じる状態。単純な知覚障害(痛みや感覚がないなど)や運動障害(手足を動かしにくいなど)ではなく、より高いレベルで、知覚と運動をつなぎ合わせて判断などを行なうネットワーク機能の異常です。例えば何かを触っていることは分かるものの、触ったものが何か分からない、何かを見ているがそれが何か判らない(触覚や視覚が捉えたものと、記憶や知識がリンクしない)

また、認知症との違い 認知症は進行するが、脳機能障害は進行しないこと。

少し脱線しますが、人間の脳の重さは1kgから1.4kg程度で、その4割が判断能力

を司る前頭葉。人の人たる由縁です。2割強が頭頂葉（空間認識）、同じく2割強が側頭葉（言語・運動能力）そして残りの2割弱が後頭葉（視覚認知） 因みに脳のしわが多いと頭が良いというのは科学的根拠が無いそうです。

損傷する部位により身体機能や感覚障害、具体的には注意・集中力欠如、記憶障害、言語障害、視覚・聴覚障害、遂行能力など発現する症状がことなります。



道に迷うことは、健常者でもよくある話ですが、脳障害があると情報は持っているも次に為すべき行動が判らない。

クモ膜下出血、脳梗塞など脳の病の予防策は良く言われているのですが、・高血圧・糖尿病・不整脈・喫煙・アルコール・コレステロール・

塩分・脂肪分・運動不足・などが危険因子を取り除くこと。

残念ながら一旦負った脳障害は治りませんが、出来ることを増やしていくことは可能です。家族は「生死を彷徨ったことで、命があるだけ良かった」との思いや、「第二の子育て」的な感覚で過保護になりがち。その一方で、当事者は「障害の枠組みでのサービス」に抵抗もあり、難しいところ。

家族のサポートは、本人のテンポや能力に合わせた対応や情報量コントロール、そしてわからないことは判らないと伝える（わかったふりをしない）

特に、病院での完全看護から退院後の自宅日常生活への移行が難題。自宅から病院への通院方法・経路が判らないのはよくある話。

ややもすれば重くて暗いテーマでしたが、野々垣さんの明るい語り口に助けられ、最後まで興味深く拝聴しました。有難うございます。



さて、2月の誕生日は5名です。

「韓国人作家の本にはまっています」「こうしてみんなで集まれることに感謝」「優しく 穏やかなのんびりを心がける」

「これから後の年齢は忘れることする」と皆さん夫々に意気軒高です。いつまでもお元気で。



本日のお楽しみコーナーは「ブレーメン」さんのミニコンサート。全盲視覚障害の方を含む、ツネ蔵、ショーヘイ、みいちゃん、グレコ、ライの5名のメンバーさん。まずは「千と千尋の神隠し」から「いつも何度でも」伸びやかな歌声が会場に響いたあとは、ルパン三世カリオストロの城から

「炎のたからもの」と続き、会場のボルテージも上がって来たところで、ツネ蔵さんの

オリジナル曲、「記憶」そして「Far East Wind」が披露され、そのメロディに聞き入ります。

ラストはツネ蔵さんの大好きなオフコースの「さよなら」で本日のステージは「さよなら」と思ったら、会場から湧き上がるアンコールの声に応じて、選んだ曲は「笑って！」会場全体を笑顔となって素敵なステージは幕を閉じました。

障害のある無しなんて関係ない、人ひとり・ひとりが伸びやかに自分の個性を豊かに表現すれば、こんなにも感動を与えることが出来ることを実感しました。ブレーメンの皆さん、また来てください。



お次は歌川さんの体操コーナー。寒い日が続くと肩甲骨の動きが悪くなるということで、ペットボトルを持った片手を背中に回し、もう一方の手でボトルをつかみましょう。若い頃なら、何も持たずそのまま背中で両手をつなげた皆さんも、日頃の運動不足も手伝い、肩回りの可動範囲がすっかり小さくなり、悪戦苦闘。カフ

ェの場だけでは、とてもじゃないが改善は無理。

自宅でも折を見て続けましょう。歌川さん有難ございました。

最後はブレーメンさんも加えて「ふれあい丘の街」を全員で合唱して、お開きです。